



狛江市立狛江第五小学校だより 《学校の教育目標》 明るい子 考える子 強い子

がくとう

令和5年4月28日発行
校長 細谷 俊太郎
5月号 No 2

実物のもつ力に触れてみて

副校長 岩淵 美香

春の陽気に誘われて、先日、霞ヶ浦サイクリングに行ってきました。これまでは、「出かけるなんてもってのほか」のような空気感があり、出かけることがためられました。五月には新型コロナウイルス感染症も5類になる見込みとの情報に背中を押されてやっと夢が叶ったのです。

いざ霞ヶ浦に到着してみたところ、予想を超えた暴風に見舞われました。自転車をこいでもこいでもなかなか前に進みません。何度もハンドルを取られて身の危険を感じました。風にあおられて波立つ水面は、霞ヶ浦の広大さも相まって海のように。そういえば心なしか磯の香りがします。遠くに見える牛久大仏が正面に來たり、九時や十時の方向に來たりすることで地図上の方角が大きく変わったことも体感できました。ガイドブックやインターネットで見る霞ヶ浦からは全く伝わらない感覚でした。

冒頭で「春の陽気に誘われて…」と書きましたが、実は、テレビで紹介された有名な大盛り食堂でカツカレーを食べるという目的を達成するために出かけたのです。大盛りを食べるならその分しっかりと運動しようと。スマートウォッチの活動量計の記録には、実に3日分の運動量に相当する数値が記録されていました。

目的の食堂では、カツカレーの量や一緒に添えられた付け合わせの品数を目の当たりにして驚きました。そして、それ以上にお店のスタッフの心遣いに感激しました。人と直接触れて、関わることのできる幸せを改めて実感しました。

私がこのサイクリングを断念せずにゴールできたのは、もちろんカツカレーの力が大きいのですが、一人ではなかったことが大きかったと思います。「一緒に楽しいこと、辛いことを分かち合ってもらう人の存在が大きな勇気を与えてくれる」…子供たちにもクラスのみならずそんな思いを分かち合ってもらいたいと感じました。

これまで、コロナ禍の工夫としてタブレットを活用したバーチャルな資料・体験などに頼らざるを得ない部分がありました。この間に身に付けた子供たちのICTスキルには目を見張るものがあります。このスキルを活用できるようになった経験を生かしつつ、実物のもつ力にたくさん触れて、心と体をたくましく成長させてほしいと願います。

【5月の予定】

1日(月) 学年朝会 安全指導日 心臓検診(1) 委員会活動	9日(火) 視力(3) 個人面談期間始め	18日(木) 避難訓練
2日(火) 校外学習(6) 視力(5)	10日(水) 耳鼻科(1・3・5) 集会委員会活動紹介	19日(金) 個人面談期間終わり
3日(水) 憲法記念日	11日(木) 視力(2)	20日(土) D時程 学校公開日 (防災教育)
4日(木) みどりの日	12日(金) 眼科(全)	22日(月) 朝会
5日(金) こどもの日	15日(月) 朝会 視力(1) 教育実習始め	24日(水) 集会
8日(月) 朝会 視力(4) クラブ活動 運動会特別時程始め	16日(火) 学力向上調査(6) 校外学習(4) 腎臓検診1次(全)	29日(月) 朝会 読書月間始め
		30日(火) 腎臓検診2次



『放課後学習教室について』（対象：4年生）

行政・学校・地域が協働した新たな取り組みとして、来月6月からスタートします。対象は4年生です。社会教育課が窓口となり、地域の学生が学習のサポートをします。週に一度、放課後の空き教室を利用し、45分程度実施する予定です。4年生を対象とした理由は、2点あります。

1点目に学習面では、高学年に入る前に基礎的・基本的な学習の習熟のベースアップが必要不可欠であること、2点目は放課後に実施することから、学童保育が終了し下校が一人で帰宅可能な年齢であることです。「苦手な計算が少しずつ分かってきた。」そんな児童の姿を目指していきます。取組について、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

※放課後学習教室は仮の名称です。

（地域学校協働活動担当：山野井誠）

5月の生活目標：きまりを守ろう（通学路・チャイム・遊び・登校時刻など）

新年度になり、子供たちが気持ちを新たにスタートを切ってから、一ヶ月が過ぎました。生活に慣れてきて気持ちが緩んでくる時期です。そこで今月の目標は「きまりを守ろう」にしました。学校生活を楽しく、そして安全に過ごすには、きまりや約束を守ることが大切です。

学校では、通学路・登下校時刻・校舎内での過ごし方・持ち物・遊びの時間のきまりや約束などについて自ら守る態度を指導しています。ご家庭でも、きまりは何のため、誰のためにあるのか、登下校の様子や放課後等の遊び方など学校や家庭以外での過ごし方について話し合い、進んできまりを守ることができるよう考えさせてください。

（生活指導委員会：宮本 智明）

【ふたば教室から】

本年度も新入級児童11名を迎え、45名の子供たちがふたば教室で学習します。個別指導の担当の先生が変わったり、グループでは新たな友達との出会いがあったりと、緊張や期待の中でドキドキのスタートとなりましたが、どの学年もやる気に満ちている子供たちの様子が見られました。

小集団指導、個別指導を通して、在籍学級や家庭で子供たちが自分のよさを発揮する方法を見付けたり、うまくいかないときによりよい方法を提案したりしながら、更に成長していけるように支援していきます。

保護者の皆様、五小の教職員、関連機関と連携を密にしながら指導をしてまいります。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（ふたば教室：平 聖子）

《1年生を迎える会》

4月24日(月)に1年生の入学をお祝いする「1年生を迎える会」を全校で行いました。1年生は拍手の中、朝や掃除の時間中にお手伝いをしてくれている6年生と一緒に入場しました。2年生による歓迎の言葉や運営代表委員会による五小に関するクイズなどを楽しんだ後に、1年生が大きな声で「よろしくお願いいたします！」と挨拶をし、全員で校歌を歌って会を閉じました。新しく仲間入りした1年生に笑顔で手を振ったり優しく先導したりする上級生が、とても頼もしく見えました。

五小の児童みんながきょうだいのように仲良くできるよう、安全に留意して児童会活動を充実させていきます。

（特別活動委員会：恵津森 奏子）

